

# 広報 つきがた

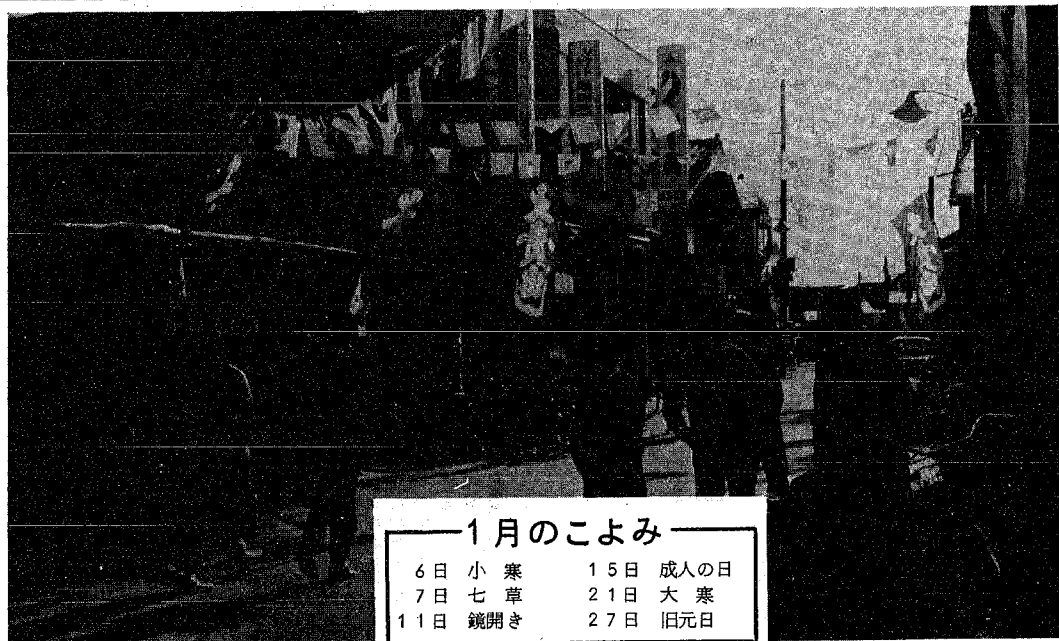
第 14 号

昭和46年 1月

役場

月 瀧 村 役 場

人口動態	12月31日 現在	12月中の異動
世帯数	784	出生 4 転入 5
(男 1,912 女 2,037)	人口総数 3,949	死亡 5 転出 11



—1月のこよみ—

6日 小寒	15日 成人の日
7日 小 七	21日 大 寒
11日 鏡開き	27日 旧元日

## 謹賀新年

月瀧村長 本間國之輔



村民の皆様明けましてお目出度うございます。希望と飛躍を象徴する新春の太陽が燦々と輝いておられます。何とかその様な意気ある年にしたいものだと考えております。

光陰矢の如しとか言われます様に四十五年も過ぎ去って行きました。一年の足跡を振り返って見ますと国際的にも国内的にも色々な問題が沢山ありました。村に於てもいまわしい問題や建設的な問題など山積しましたが村民の皆様の御理解ある御協力によりまして計画を致しました諸事業も完成させて頂きました。村の事業から申しますと東部用水路及中学校連絡道路の舗装、釣寄新村地内の道路改良、西側用水路の嵩上げ工事、曲通木滑の連絡道路嵩上げ工事等、県道に於ては大別当の堤防の補装、停車場線の舗装、東長島地内木滑地内の舗装等着々近代化しつつあります。又長い間の懸案でありました今井道路も県道昇格に快定致しました之等のことは皆様方が村政に対して限らない援助を頂きました。

今年には亥年で私の生れ年です。昔から猪は猪突猛進と言って無鉄砲の標本の様に言われて居りますが、何事も出来るだけ慎重にする様に心掛けて来たつもりで居りますが今年こそ脱線しない様に「三省」と言葉を書右の銘として行き度いと思っております。「三省」と言う言葉は論語に「吾日に三たび吾身を省みる人のために謀りに忠ならざるか、朋友と交って信ならざるか、習わざるを伝ふるか」とある。「他人の相談ごとに真心をこめて乗ってやったか、友人との交際に乗義を破ることはなかったか、師の教を十分にこなさないで弟子に教えなかったか、自分はこれらのことをたびたび反省する」との意味であると考えて居ります。

私共の村は規模が小さいので財政的に恵まれませんので皆様の要望を充たす訳には行きませんが貧しい乍らも他の町村に敗けない誇らしきを作って行くつもりです。藤に陽にの御指導と御協力をお願い致します。

何れに致しましても今年こそ村民の皆様が幸福で健康であります様に心からお祈り致しまして新年の御挨拶と致します。